

Title	シナリオプランニングによる都市銀行業界の環境変化分析と競争戦略
Sub Title	
Author	石田茂樹(Ishida, Shigeki) 青井倫一
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1996
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1996年度経営学 第1235号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001996-1235

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

石田 茂樹
(株式会社あさひ銀行)

主査 青井 倫一

副査 國領 二郎

大林 厚臣

所属

青井 倫一 研究室

シナリオプランニングによる都市銀行業界の環境変化分析と競争戦略

一連の金融自由化の進展によって、都市銀行の戦略的自由度は飛躍的に高まってきた。また、バブル崩壊に伴う不良債権の発生は都市銀行から基礎的な体力を奪い、同質的かつ全方位的な戦略の維持は困難な環境にあるといえる。したがって、現在の都市銀行は競争環境と自行の経営資源に適合した戦略の策定が必要になっている。

本研究は都市銀行の中・長期的な戦略の策定には将来の競争環境の分析が不可欠であるとの基本的認識の下、不確実性を内包する環境変化の分析に用いられる「シナリオプランニング」の都市銀行業界への応用を試みることで、環境変化の基底に存在する様々な不確実性、及びそれらと環境との因果関係を明らかにすることを目的としている。

競争環境の変化については、「企業との取引関係」「産業としての収益性」「業務範囲規制の自由化」の各項目について、それらの変化に影響を及ぼす構造的要因に着目して三本のシナリオを構築した。その結果、各シナリオの根底には規制、技術、顧客の選好等様々な不確実性要因が存在し、かつ、各項目の変化には強い因果関係が存在することが推察された。

競争戦略については、「市場セグメント」と「業務範囲」の二変数から類型化を行い、それぞれの戦略型を各シナリオの下で評価した。その結果、企業との取引関係が戦略の適否に大きな影響を及ぼすこと、また各シナリオと有効な競争戦略の組み合わせを明らかにすることができた。

本研究を通して考察された不確実性と競争環境との因果関係、及び競争環境と有効な競争戦略の関係についての理解は、時間の経過とともに不確実性要因が既決要因に転化していく際に、競争環境の変化に先駆けた迅速な戦略的対応を可能にするものであると考える。